

広げよう ネットいじめ防止の輪

高崎地区で行ったアンケートでは、小・中・高校生それぞれで90%以上の子どもがインターネットを使ったことがあり、子どもたちにとって、「ネットとどう付き合うか」は大きな課題になっています。

ネットいじめは、教員や保護者の目の届きにくいところで起こります。ネットいじめから子どもたちを守るためには、学校・家庭・地域が連携して、インターネットに依存しない生活をするのが大切です。

群馬県いじめ防止に関係する機関や団体が構成する「群馬県いじめ問題対策連絡協議会」では、ネット上のいじめを防止するための啓発リーフレットを作成し、県民に向けて広くネットいじめ防止を呼び掛けています。



ネット上のいじめ防止啓発リーフレット

インターネットに依存した生活を見直すところから始めましょう！

● ネット以外のコミュニケーションを大切にしましょう

家庭では

大人自身がネットに依存した生活になっていないか、振り返りましょう。

学校では

授業や学校行事などを通して、よりよい人間関係づくりを進めましょう。

● ネット問題について話し合い、ルールをつくりましょう

家庭では

正しい利用ルールについて子どもといっしょに考え、家庭のルールをつくりましょう。

学校では

友人関係や健康・学習面への影響について考え、子ども同士でルールをつくりましょう。

子どもたちの間で、こんなネットいじめが起きています

- 人の気持ちを考えずに、悪口や嫌がることを書き込む。
- いたずら目的の動画や不適切な画像を投稿したり、送ったりする。
- 他の人になりすまして悪口を書く。
- 特定の子を仲間からはずす。

一度拡散した情報は消せない

子ども一人の力だけでは止められない



家庭のルールをつくりましょう

子どもとよく話し合いましょう



子どもにスマホやゲーム機を与える前に、子どもとルールを決めることが大切です。子どもがきちんとルールを守れるように、各家庭の状況に合わせて親子でよく話し合い、家庭に合ったルールをつくりましょう。

ルールを守り、適切に使っていくためには、家庭のルールを子どもの成長とともに見直していくことも必要です。

また、PTAや児童会・生徒会を中心に、家庭のルールや友だち同士のルールをつくっている学校もあり、ルールづくりの参考になります。

フィルタリングを設定しましょう

ゲーム機や音楽プレイヤーでもインターネットへの接続はできます。スマホと同じように、きちんとフィルタリングを設定し、家庭内でのルールをつくりましょう。

自宅ではネットにつなげない環境であっても、コンビニやファストフード店などでは、無料でインターネットにアクセスすることができ、実際に子どもたちは利用しています。スマホやゲーム機には、利用制限やフィルタリングを設定することが大切です。

親子で守ろう！ わが家のルール [例]

- ◆ 食事中にはスマホをいじらない
- ◆ スマホはリビング以外で使用しない（充電器も持ち出さない）
- ◆ 夜9時以降は親にスマホを預ける
- ◆ 有料サイトやアプリを利用するときは、その都度親に相談する
- ◆ 自分が言われたら嫌なことは書かない
- ◆ 約束を守れないときは利用を禁止する

県では、いじめや子どもに関する相談窓口を設けていますので、お気軽にご相談ください。連絡先は、8ページをご覧ください。

